

ROUTE 9

山陰道 鳥取西道路

～未来を創造する交通ネットワーク～

吉岡温泉IC(仮称)

山陰道 鳥取西道路

鳥取西IC

平成25年12月14日開通

鳥取IC

鳥取道

鳥取IC付近より西方向を望む

鳥取西道路に期待される道路の役割（効果）

国道9号の渋滞緩和

鳥取西道路に並行する国道9号の交通量は増加傾向にあります。特に鳥取市内の白兔付近では朝の通勤時間帯や観光シーズンに1kmを越える渋滞が発生しています。鳥取西道路の整備により、渋滞緩和が期待されます。

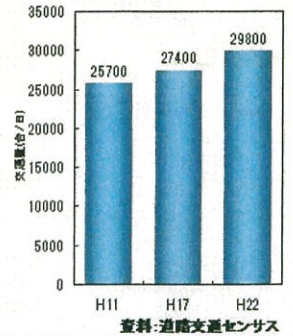
国道9号の状況



写真 国道9号白兔付近 渋滞状況(平日・朝)
(鳥取市白兔地内 H25.8月撮影)

交通量の推移

国道9号鳥取市気高町下坂本



災害時等の代替路線の確保

国道9号では、事故や雪害等により、通行止めが頻発しています。鳥取西道路の整備により、通行止めの影響を回避でき、安心して目的地へ向かうことができます。

事故等における通行止めの状況



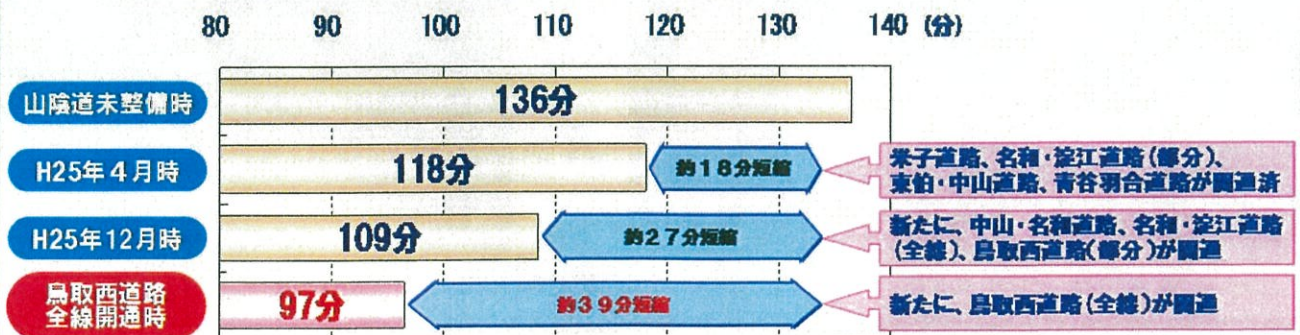
写真 国道9号冬の状況
(鳥取市気高町日光坂・鳥取市内方面)



東西間の移動時間の短縮

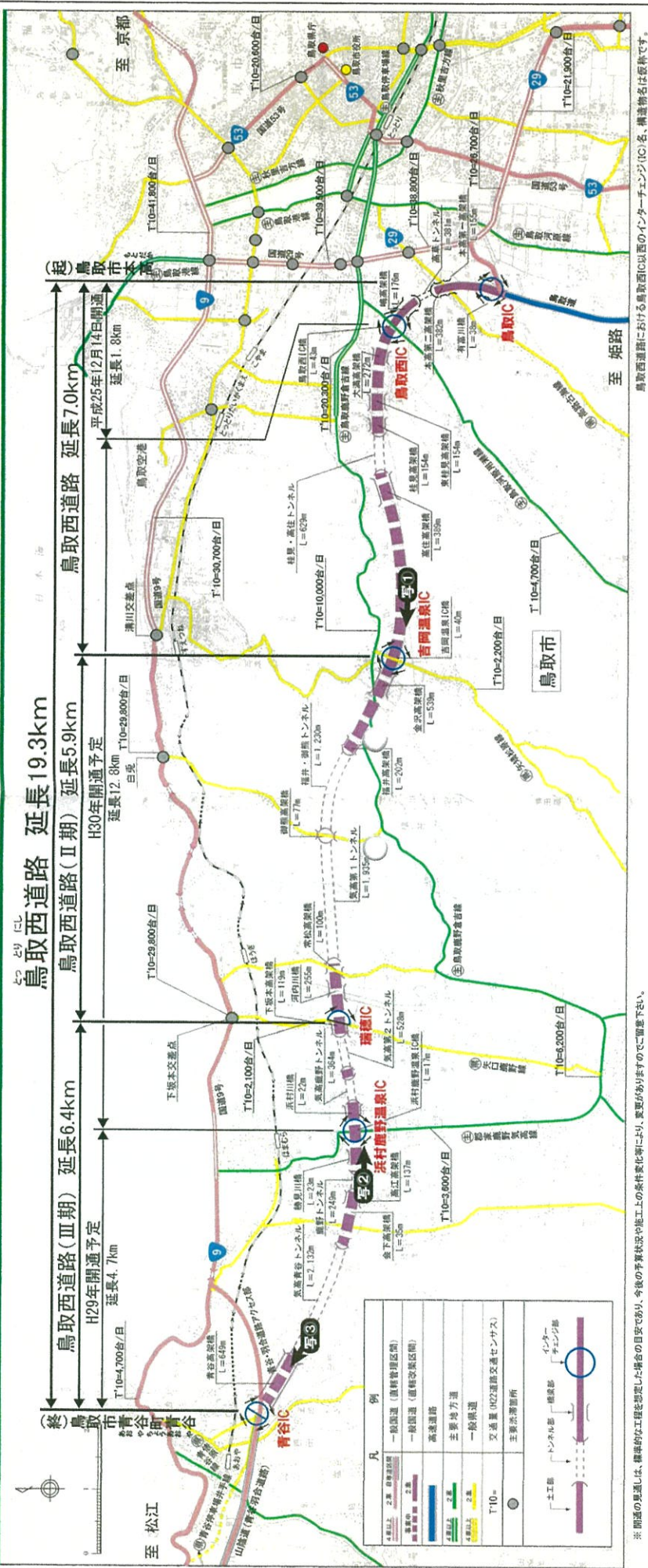
将来、鳥取県内の山陰道整備により、鳥取県東西方向の所要時間短縮が図られ、観光の広域化や物流の効率化等による地域への貢献が期待されます。

米子市役所—鳥取市役所への所要時間の比較



国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所
〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地 TEL 0857-22-8435(代)
ホームページアドレス <http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

計画位置図



※ 開通の交通量は、概算的に行き先を想定した場合の目安であり、今後の予算状況や施工上の条件変化等により、変更がみられますのでご留意下さい。

事業の概要

国道9号は、京都市から下関市に至る延長約75.5kmの主要幹線道路です。しかし鳥取県を東西に結ぶ唯一の主要幹線道路であるため、鳥取市内では朝夕ラッシュ時に深刻な交通渋滞が発生しています。また、この区間は代わりとなる道路がないため、大きな事故や災害等の発生時には、日常生活はもとより、地域の経済活動に多大な支障をきたしています。

本道路は、緊急時の代替路線の確保、現道の渋滞緩和、観光・医療・物流活動を支援するとともに、山陰地方における高規格幹線道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化に寄与する自動車専用道路です。

空撮写真



写③ 青谷IC付近(鳥取市気高町青谷地内)

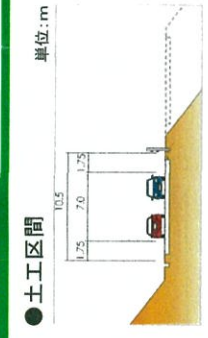


写② 浜村鹿野温泉IC付近(鳥取市鹿野町乙亥正地内)

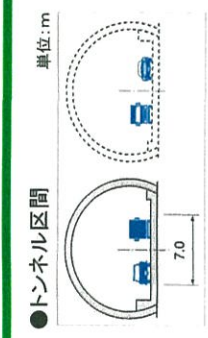


写① 吉岡温泉IC付近(鳥取市松原地内)

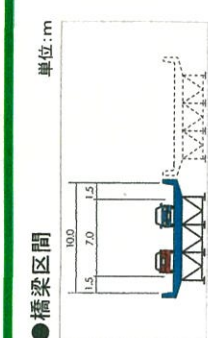
標準断面図



● 土工区間 単位:m



● トンネル区間 単位:m



● 橋梁区間 単位:m

事業名	鳥取西道路(Ⅲ期)	鳥取西道路(Ⅱ期)	鳥取西道路
計画延長	6.4km	5.9km	7.0km
道路規格、幅員	第1種2級、幅員10.5m(2車線)		
設計速度	100km/h		
事業着手	平成20年度	平成19年度	平成17年度
工事着手	平成23年度	平成22年度	平成20年度

※ 破線部は4車線完成時

H28年11月撮影

■ 鳥取西道路 施工状況【⑧青谷地区】



至 鳥取IC

至 倉吉

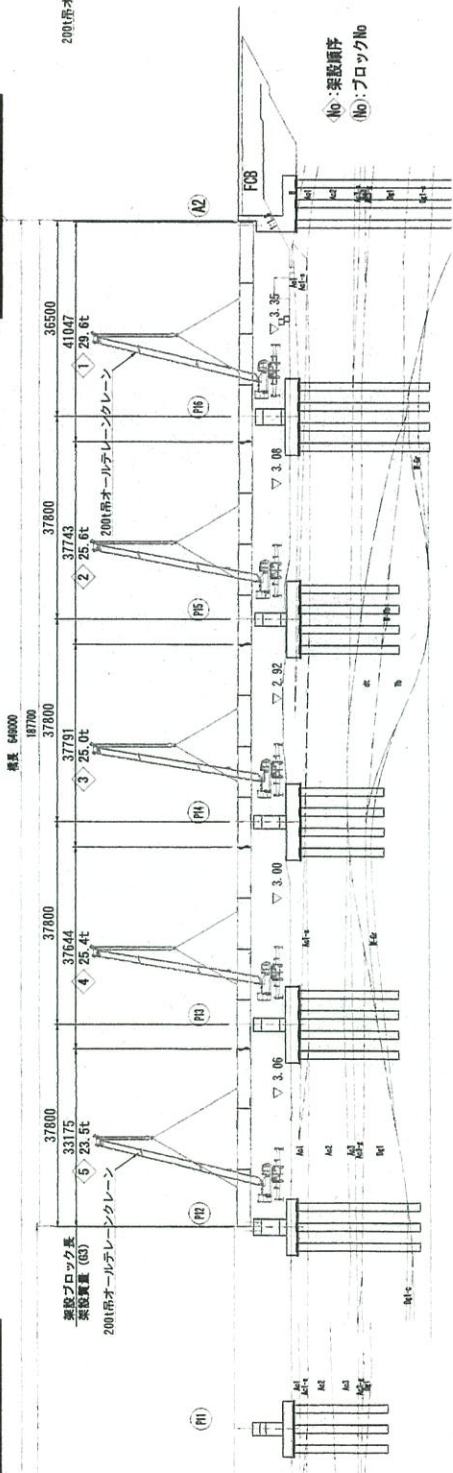


P12~A2 架設計画図 S=1:500

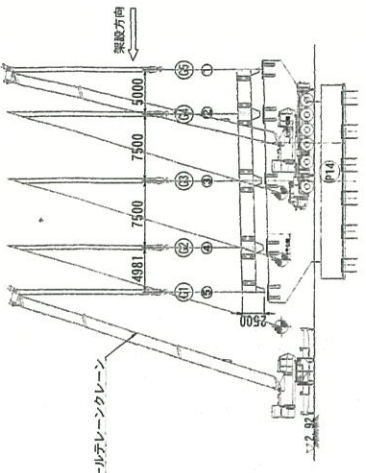
側面図

←鳥取方面

米子方面→



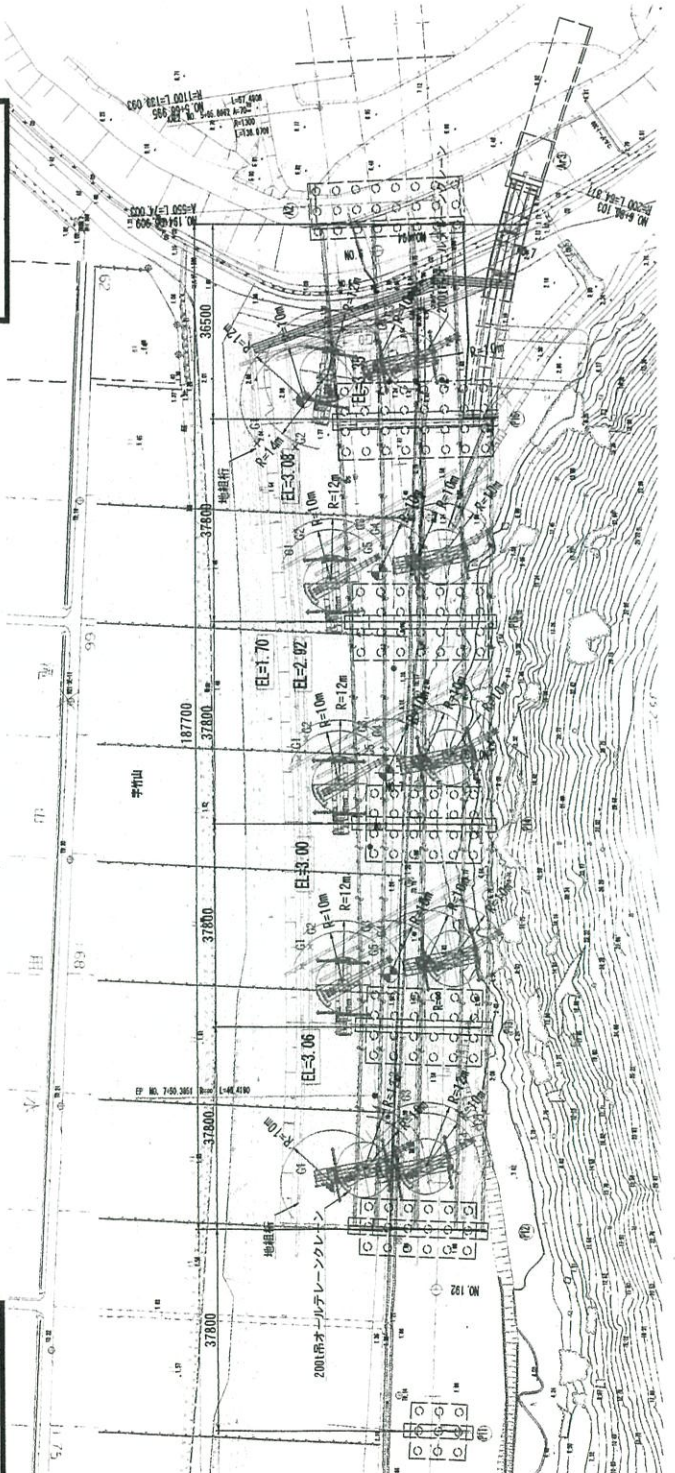
断面図 S=1:300



←鳥取方面

平面図

米子方面→



(備考) (参考図)

工事名	鳥取県建設局高松橋(旧)架設工事
図名	P12~A2 架設計画図
作成年月日	
縮尺	図示
図番	
会社名	中国地方建設局 鳥取河川建設事務所
専業者名	

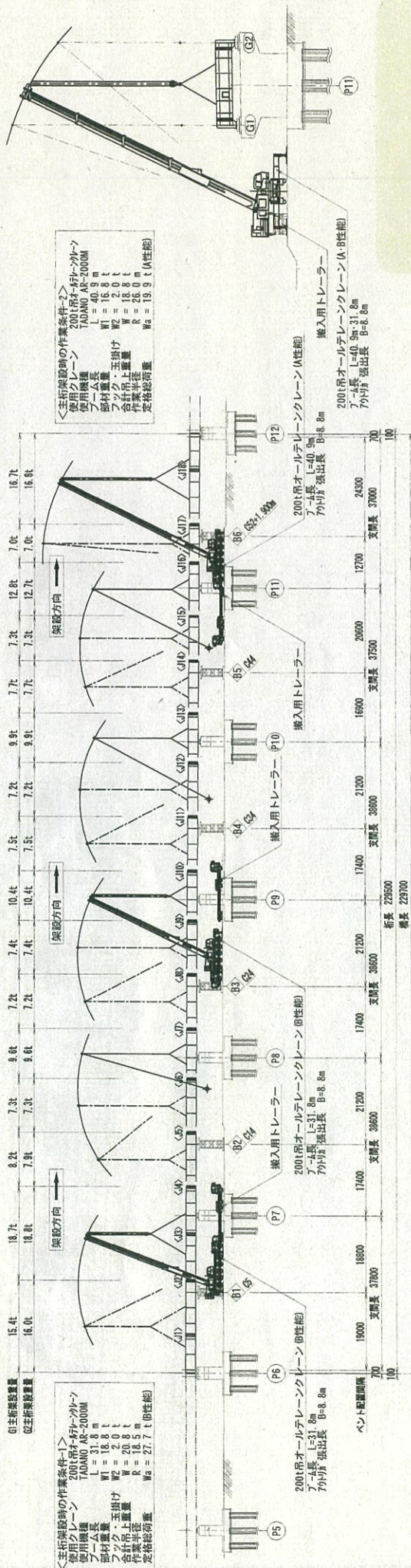
青島架橋第2 架設計画図(その1) S=1/500, 1/250
 [鋼桁架設計画図]

← 鳥取方面

側面図

米子方面 →

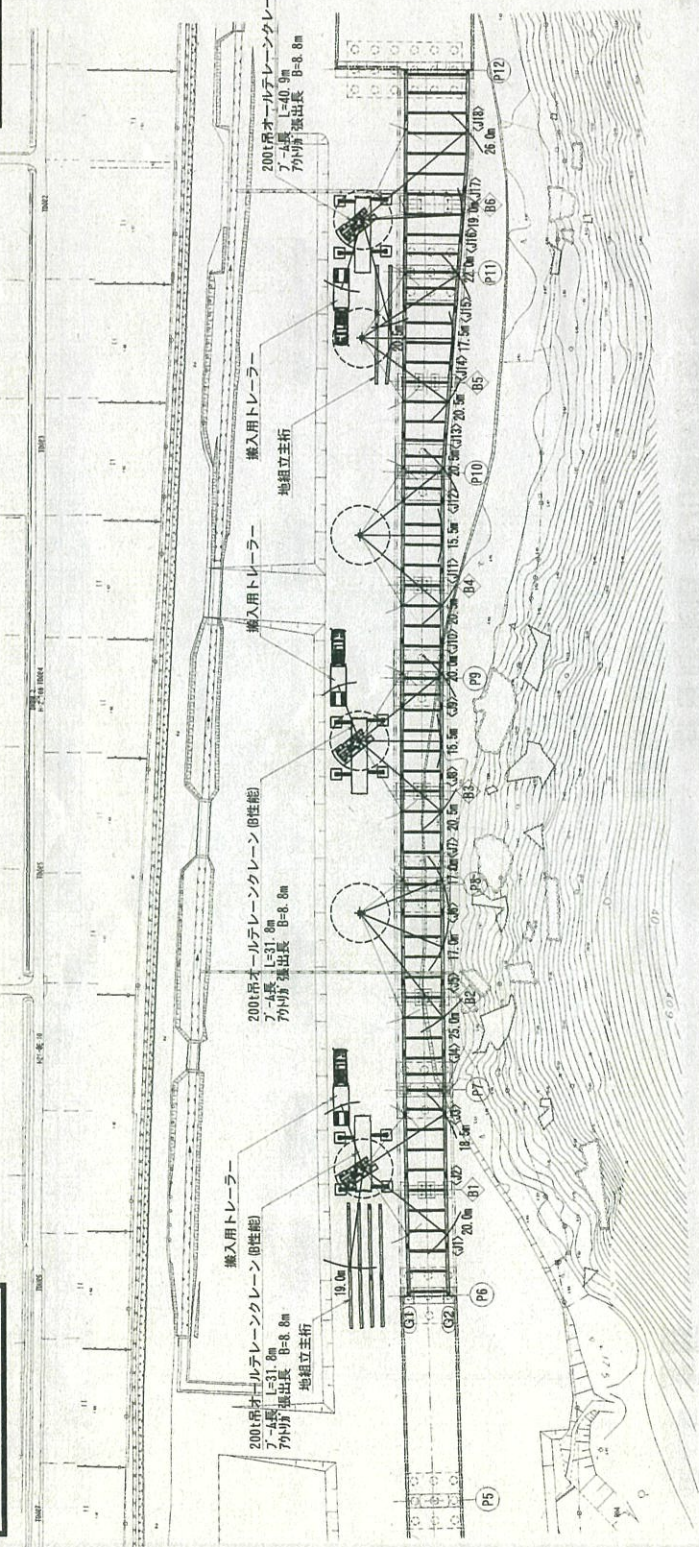
断面図 S=1/250



← 鳥取方面

平面図

米子方面 →





トンネルができるまで



Start

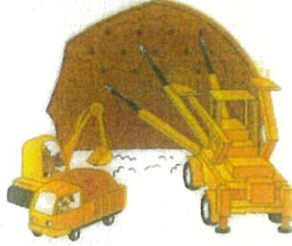
①準備

最初に測量をして、設備の配置を決めトンネル回りを整え、次にトンネルを掘るために使う機械運びます。



②掘る・削る

ドリルジャンボで岩に穴を開け、そこに火薬を入れて爆破します。



③すり出し

掘っていく時にでる土や岩(すり)はホイールローダーでダンプトラックに積込みトンネルの外へ出します。



⑤ロックボルト

ロックボルトをトンネル内部から外へ向けて埋込み、地山の強度を高め、地山と一体化します。



②からここまでの行程を繰り返してトンネルを掘り進みます。

④吹付コンクリート(1回目) 鋼製支保工建込 吹付コンクリート(2回目)

せっかく掘った穴がくずれないようにコンクリートを吹付けて固め、鋼製の支保工(トンネル内部を支える鉄でできたわく)を組み立て、さらにコンクリートを吹付けます。



Point!!

近くに住んでいる人になるべく迷惑にならないように、気をつけながら工事をしているよ。



⑥防水シート張り

トンネルの中の水もれを防ぐために防水シートを張ります。



Point!!

トンネル工事では山が崩れないようにするために色んな工夫をしているね。



⑦コンクリート覆工

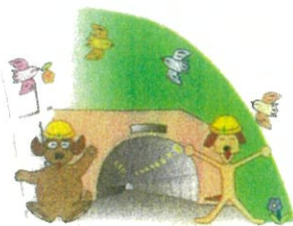
支保工を補強して安全性を高めたり、コンクリート永久構造物として地山を支持する機能があります。



トンネル掘りはここでおしまい。ここからはそれぞれの専門家達にバトンタッチするんだ!

⑩完成

いよいよ完成!



Finish

⑨設備工事

トンネル内の照明などを設置します。



⑧舗装

一般にアスファルトよりも耐久性に優れ、明るい色のコンクリートを使用して舗装します。



コンクリート舗装ができるまで



① 砕石路盤の施工
コンクリート舗装版の下に砕石による路盤を施工します。



② アスファルト乳剤の散布
版盛への水の浸透防止・版盛とコンクリート舗装版とを分離させる目的で散布します。



③ 鉄筋の組立
コンクリート舗装版の構造に鉄筋を組立てます。幅・長さを含わせてきれいに組立てます。



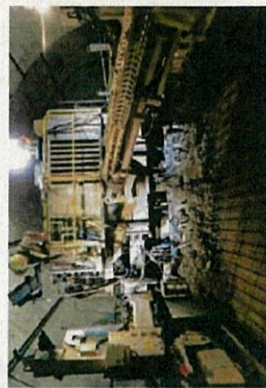
④ 鉄筋の組立完了
均等な幅と長さ・コンクリートの流れを確保してきれいに組立て完了です。



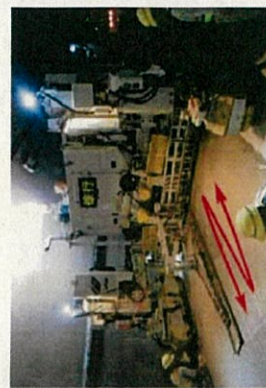
⑤ コンクリート舗装機械の投入
生コンクリートを敷均し・締めめ・平坦仕上げを全てできる機械の投入です。約30トンの重量があります。



⑥ 生コンクリートの運搬・投入
生コンクリートの運搬は通常の生コン車で行います。機械付属のベルトコンベアにより隣接前方へ材料を投入していきます。



⑦ 生コンクリートの敷均し・締めめ
投入された生コンクリートをスクリーンで広げ、敷均します。機械の通過と同様に敷均した生コンクリートを締め固めます。



⑧ 平坦仕上げ
機械の通過で敷均し・締めめられた生コンクリートを前後に揺らしながら平坦に仕上げていきます。



⑨ 人力による横割の仕上げ
機械での平坦仕上げが行き届かない箇所に付いては、人力により丁寧・平坦に仕上げていきます。



⑩ ほうき目の仕上げ
タイヤのスリップ防止の目的で道路に垂直にほうききを使用して粗面に仕上げます。



⑪ 精製養生剤の散布
コンクリート舗装版の表面仕上げ完了後、ひび割れ防止の目的で養生剤を散布します。



⑫ コンクリート舗装の完了
施工完了です。規定の強度が出るまで養生を行います。